

季報

二松學舎大学附属図書館 Quarterly Report

LEARNING COMMONS

- P2 人生の秋 白石まりも
- P3 レポート・論文が楽になる図書館活用法
- P4 ワークショップの紹介
- P5 使ってみよう！プレゼンテーションルーム
- P6 TULCをもっと活用しよう！
図書館川柳「忘れ物の叫び」篇
- P7 新着図書おススメの1冊
本学所蔵資料の紹介
- P8 本学教職員著書紹介

No.97

2016(平成28)年10月

人生の秋

国際政治経済学部 国際政治経済学科 教授 白石まりも

「 春—生命の息吹 夏—燃えるような情熱
冬—透き通るような静寂 」

「秋」のキャッチフレーズは、とても意欲的に感じられます。昨年の「季報」にも、読書・スポーツ・食欲・学問・芸術と、秋は多彩です。こんなに、人間を前向きに駆りたてる季節はありません。秋には何があるのでしょうか。

「秋」にあるものといえば、体育の教員としてやはり「スポーツの秋」でしょう。ところが私は小学校から部活に入っていましたが、四季は取り立てて意味のある季語ではありませんでした。中・高校の部活はほぼ年中無休でしたし、体育大学では季節どころか睡眠時間以外は1日中運動施設にいました。今でも暑い・寒いなど季節を感じながら運動をしていますが、残念ながら「秋」を特別視した記憶がありません。

とはいえ、私の行っていた体操競技の試合に関しては、インターハイ・インカレは「夏」の行事ですが、国民体育大会は「秋」と分類します。昭和36（1961）年からは、国のスポーツ振興法に定める重要行事として、国民の健康と士気を高めるための国民体育祭と言う位置づけで行われ、国体開催県は体育館が建てられ、道路が完備されホテルが新築されるなど復興支援としての使命もありました。国民体育大会も、全国を一回りしてその役目を終えたとして開催しないという選択肢も議論されましたが、今後平成30年までの開催県が決まっているところを見れば、まだ何かしらの役目があるのだということでしょう。

今年はオリンピック・イヤーです。国を代表して行われるオリンピックは、選手の一人一人が国旗を胸に競います。スポーツを極めていく内には、何時かは「日の丸」を付けて戦いたいと思い練習する選手も多いと思います。私も小さいころ、チェコスロバキアの名花と言われたチャスラフスカという体操の選手にあこがれて体操を

始めました。その頃の女子の体操競技は、ソ連が圧倒的な強さで君臨していましたが、ソ連がチェコスロバキアに占領軍を送るといった状況下の中、チャスラフスカ選手が個人で金メダルを取り、幼心に感動を覚え体操競技を始めるきっかけとなりました。私自身は自分の能力の限界を知り、東京女子体育大学に進学した時点でトレーナーを目指していました。選手の技術だけでなく、健康・精神状態までサポートするのが仕事です。当時1年生でトレーナーと宣言する事は、大変な事件のようで、2年生からは大変な軋轢をうけましたが、同期生が一丸となって私を守ってくれました。そのような状態が続く中、3学年先輩の村田まゆみさん（現東京女子体育大学 山田まゆみ教授）が、幻のオリンピック（ソ連軍がアフガニスタンに侵攻した事に抗議して、日本始め欧米諸国がボイコットした）と言われた1980年のモスクワオリンピックの最終候補選手に選ばれました。そして村田さんは、私をトレーナーに指名したのです。2~4年生がいる中で、これもまた事件でした。体育大学での年功序列は厳しく、そこから外れるなどあってはいけなかったのですが、3年先輩の決定は絶対でした。オリンピックの最終選考大会に、選手と一緒に試合会場に立つという経験は、その後の私を大きく変えていきました。村田さんには感謝しかありませんが、いつか「なぜ私だったのですか？」と聞いてみたいと思います。

今、人生の「秋」だと自覚しています。幼い頃は夢を持ち、こうありたい・こうしたい、が過ぎて、こう終わりたいと考えるようになりました。前しか見ないで走ってくる事が出来たのは幸せな事なのでしょう。こうしてみれば、「秋」もまた楽しいのです。そして「秋」が過ぎて「冬」になっても、楽しみたいと思います。

ワークショップの紹介

図書館では、7月に『明快！速効！プレゼンのコツワークショップ』と『図書館を使う！レポート・論文の書き方ワークショップ』をラーニング・commonsのプレゼンテーションルームにて実施しました。

『明快！速効！プレゼンのコツワークショップ』

〈第1部 プレゼンのコツ〉

写真①では、相手に「伝える」際の基本とポイントを講義形式で解説しました。内容はプレゼンテーションに限らず、授業での発表や就職活動にも応用できるものでした。

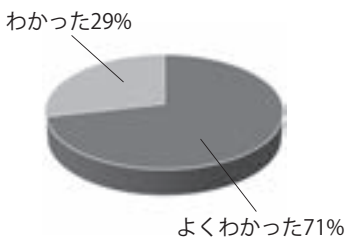
〈第2部 プレゼンテーションルームの機器を活用しよう！〉

写真②では、電子看板、書画カメラ、PF-NOTE、という3つの機器の使い方および実際の活用方法を紹介しました。下のアンケート結果からも、講座を受講した皆さんが、様々な機器に興味を惹かれたことが伺えます。

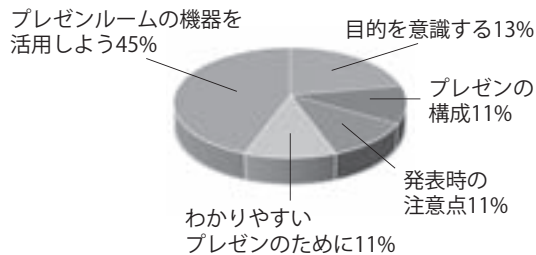


写真① 講義風景

講座の内容は？



1番印象に残ったことは？

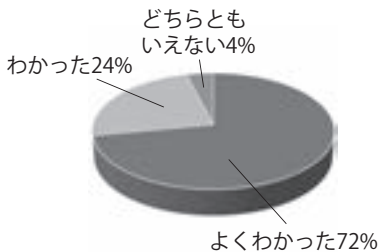


写真② PF-NOTEの活用法

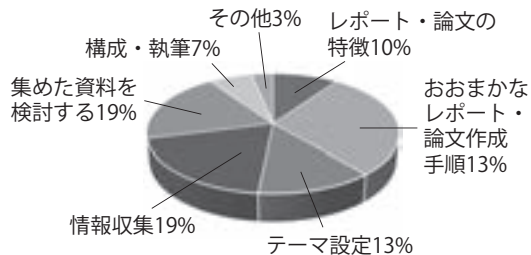
『図書館を使う！レポート・論文の書き方ワークショップ』

レポート・論文のテーマ設定の仕方、情報収集や集めた資料の検討方法など、レポート・論文を作成するうえで欠かせない知識や手順を、講義だけではなく、途中でグループワークを交えながら実践形式で習得するワークショップでした。下記のアンケート結果から、大半の学生がワークショップの内容を理解し、レポート作成の助けになったことが伺えます。

講座の内容は？



1番印象に残ったことは？



写真③ 講義風景



写真④ グループワーク風景

今号から始まったラーコモ通信。初回は、気になっている人も多いプレゼンテーションルームの機器を紹介します。プロジェクトや通常のPCの他にも、プレゼンテーションルーム内にはいろいろな機器が揃っています。うまく活用すればより充実した学習ができること間違いなし！プレゼンテーションルームの利用申請や相談は、ラーニング・コモンズ1階受付まで、お気軽にどうぞ！

電子黒板 PCとホワイトボードが一体化！

電子黒板は単純にホワイトボードとして利用する他に、加えてPC画面の投影、操作、画面上への板書ができます。板書内容を保存して、参加メンバーで共有することもできます。

例えば、研究発表の際に通常のホワイトボード代わりに利用したり、パソコンで作ったスライド資料などを映しながら説明のために書き込みをしたりといった活用があります。



電子黒板

書画カメラ 手元の資料や立体物をスクリーンに投影できるカメラ

書画カメラは、長い首の先に下向きカメラがついていて、レジュメや書籍など手元の資料を映しながら説明・検討を行うのに最適です。また、静止画や動画の撮影ができます。カメラ部分は首が回るようになっているので、真下だけでなく水平方向も映すことができます。

研究発表、模擬授業で資料説明に利用できるほか、複数人のグループで一つしかないサイズの小さな資料を検討するのに便利です。



書画カメラ

PF-NOTE 多機能学習ツール（録画・再生機能、アンケート機能など）

PF-NOTEはPower Feedback NOTEの略です。双方向学習を促す様々な機能が備わっています。例えば、小さなりモコン（クリッカー）を使って出欠やアンケートをとる機能や、カメラ・マイクと連動した録画・再生機能があります。研究発表、模擬授業、面接などの練習や本番に利用するのがおすすめです。アンケート機能を使ってクイズもできます。



PF-NOTE

【おまけのコラム～書画カメラの秘密～】

クー 「学生君、気になる機器はあった？」
 学生君 「そうだなあ、僕は書画カメラが気になったかな。あれ？このカメラ、回転するんだ！」
 コラ 「実はそうなんだ。首を回すと、下だけじゃなくて前に向けることもできるよ！」
 学生君 「へえ！なんだか、対面式の面接練習とかもできそうだね。」
 コミ 「いいアイデアだね！録画・録音機能を使えば、自分がどんな風に話しているのかを確認できるよ。」
 学生君 「そろそろ就職活動の準備を始めないといけないし…。よし、今からやってみよう！」

三兄弟「OK！ Let's Active Learning！」



TULC をもっと活用しよう！

TULC (Tokatsu University Library Consortium) は、千葉県東葛地区の常磐線沿線にある近隣の7大学図書館の相互利用および情報交換を目的としています。加盟館は、江戸川大学総合情報図書館・開智国際大学図書館・川村学園女子大学図書館・中央学院大学図書館・東洋学園大学図書館・麗澤大学図書館・二松学舎大学附属図書館で合計約200万冊の蔵書数になります。

本学図書館 HP から TULC の横断検索が可能です(右図)。検索した結果、二松学舎大学にはない資料が、他大学図書館に所蔵されていれば、直接その資料を見に行ったり、借りたり複写したりすることができますので、ぜひ皆さん、利用してみてください。



下記の表は各大学図書館とその蔵書構成の一覧です。ご覧のように各大学の蔵書構成には特徴があります。本学のOPACでヒットしなかった資料は、TULCの横断検索でも探してみましょう。ひょっとしたら、探していた資料が見つかるかも知れません。

江戸川大学 総合情報図書館	開智国際大学 図書館	川村学園女子大学 図書館	中央学院大学 図書館	東洋学園大学 図書館	麗澤大学 図書館
心理、情報、社会、民俗、美術芸術、語学、文学など	心理、情報、社会、教育、経営、美術芸術、文学、言語関係など	英米文学、歴史、心理学、社会、教育、栄養学、観光、幼児教育関係など	商学関係、法学関係などの社会科学関係など	英米言語・文学、社会科学、心理学など	英語、ドイツ語、中国語、日本語の言語・文学、経済・経営関係など

図書館川柳 「忘れ物の叫び」 篇

双松：沼千斎柏九先生、こんにちは。93号ではお世話になりました。ところで、先日先生が私の夢に現れて、謎解き川柳を出題されました。答えを考えてみたのですが、解くことができず、気になりましたので教えてもらいに来ました。夢の中の先生曰く、「忘れ物の叫び」がヒントです、とのことでした。

柏九：私は出題した覚えはないのですが……。まあ、仕方ないですかね。どんな川柳ですか？

双松：二つあります。

①パソコンに 刺さったままで 動けない

②ちょっと待て おいらまだまだ 働ける

柏九：①はつまり……。そうUSBの叫びですね。これは個人情報がいっぱい盛込んであるのでは？PCコーナーができてから、このような忘れ物が出てきたのですかねえ。

双松：そうなんです。せっかく自分で作成した文書や、集めた情報が入っていると思うのですが、忘れていってしまうのですね。最近増えてきた忘れ物だと思います。では、②はどうですか？

柏九：②はですねえ……。一体何のことでしょうか？そうか！おそらくボールペンや消しゴムなどの文房具たちの叫びではありませんか？まだまだ使用できる文房具を忘れたままにしてある。文房具たちが「まだまだ働けるよう！」と叫び声をあげている感じがしました。

双松：なるほど、そうですね。文房具の忘れ物はとても多いです。カウンターのところにおいてあるのですが、引き取りに来る人はめったにいません。USBや文房具の他にも、傘や筆頭に財布や学生証などの貴重品、メモや本、季節によってはマフラー、最近ではイヤホンなど実に幅広いものが図書館に忘れられています。「図書館に忘れたかも」と思ったら、ぜひ一度カウンターへ尋ねてみてほしいですね。

柏九：「忘れ物 ひとりで家に 帰れない」というところでしょうか。

双松：さすが、先生。その通りです。忘れ物にはぜひとも注意してほしいものです。

新着図書 おすすめの1冊

福嶋聡著『書店と民主主義 言論のアリーナのために』 人文書院 2016年6月 [請求記号] 024-S

書店に行くと、「〇〇フェア」が行われていることがあると思います。この本の著者は、ジュンク堂書店難波店の店長ですが、彼が行った一押しフェアに、クレームがたくさんきたということです。しかし、そのクレームは世の大勢に流されたものではなかったのか、自分自身の考えをしっかりと持っているのかと、そんなことを考えさせられた本でした。

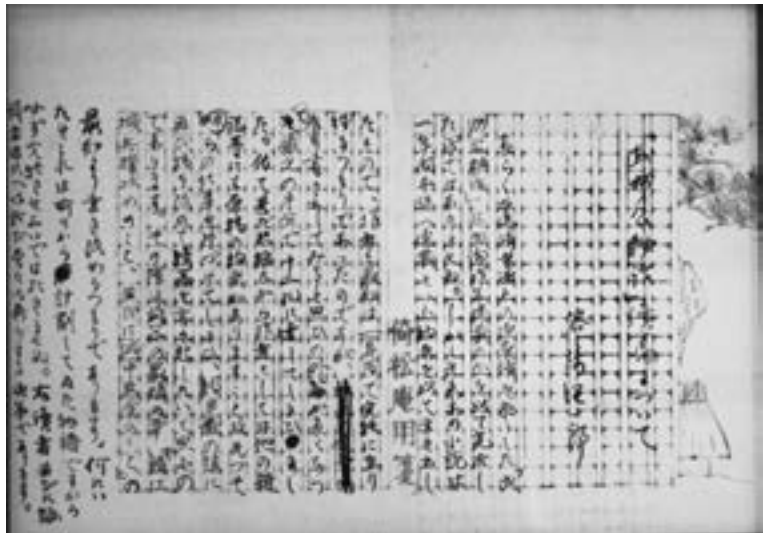
この本は著者が人文書院の公式サイトに連載しているコラムを中心に、雑誌などに掲載された文章をまとめられたものです。書店のことがもちろん中心となっていますが、書評などもあり、「読んでみたい」と思える本にもめぐり会えるような気がします。

この本を読んでから書店に行くと、今までと違った視点で書店を見ることができると思います。「読書の秋」です。近所の神保町へぶらりと出かけて、書店を覗いてみませんか。(A)

本学所蔵資料の紹介

谷崎潤一郎 草稿 「武州公秘話」続篇 について 【横溝正史旧蔵資料】

戦国時代を舞台に、特異な性癖を持つ人物を主人公とした「武州公秘話」は、雑誌『新青年』（昭和6年10月号～11月号、昭和7年1月号～2月号、4月号～11月号）に連載されました。右の草稿は、昭和8年2月の同誌に掲載されたものです。



〈釈文（途中略）〉

長らく本誌読者諸君の御愛読を忝うした「武州公秘話」は勿論昨年掲載の分を以て完結した訳ではありません。しかし元来あの小説は一年間本誌連載といふ約束を以て書き出したもので、作者も最初は一年間で完結に至り得るつもりであつたのですが、書き出してみると思ひの外筋が長くなつて予定の半分で十二回に達してしまひました。[...] 何にいたせこれは前々から計画してゐた物語ですから、必ず完結させないではおきませぬ。右読者並びに編輯者諸氏へ御詫び旁々御断りする次第であります。

しかし、残念ながら続作はできませんでした。なお、釈文は『谷崎潤一郎全集』第16巻（中央公論新社、2016年、請求記号918.68-TJ-16）にも収められていますので、全文を知りたい方はご一読ください。

※こちらの資料は、横溝正史旧蔵資料より見つかったものです。横溝正史旧蔵資料は、横溝正史の長男、横溝亮一氏が自宅物置で発見されたものです。発見した段ボールの中には、大量の原稿や草稿、映画化された作品のシナリオ等がしまわれていました。亮一氏が、これらを研究機関が一括して引き取ることを望み、縁あって二松学舎大学が受け入れることになったものです。

本学教職員著書紹介

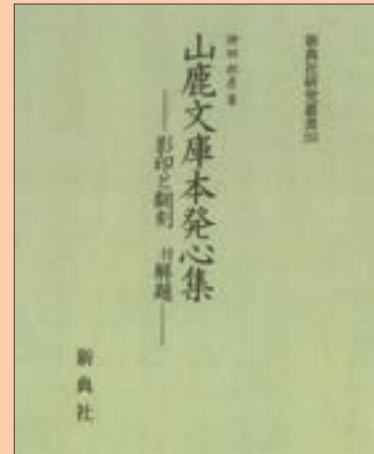
『山鹿文庫本発心集 — 影印と翻刻 付解題 —』

神田邦彦 著

(新典社、(新典社研究叢書) 2016年6月8日発行)

A5上製函・431ページ・12,400円+税

ISBN：978-4-7879-4285-2



文学に限らず、史書であれ、仏書であれ、楽書であれ、文献資料を研究するときは、まず本文を批判するところからはじめるというのが、わたしが先学の先生方から学んできたことです。ですから、2012年の『方丈記』成立800年以來、縁あって『発心集』を研究することになったときも、まず取り組んだのが、伝本を調査するということであり、その後は伝本を比較、校合し、注釈を施して、解釈、鑑賞へとという道すじを描きました。この本に収めた山鹿文庫本は、その途上、伝本の調査で見出したものであり、本書はその書名のとおりに、その影印と翻刻に解題を付したものです。山鹿文庫本を刊行したいまは、『発心集』の校本の作成に取り組んでおり、同時に注釈、解釈を進めています。

『発心集』は、鴨長明が編纂した仏教説話集ですが、その伝本には流布本系統と異本系統と、二系統の本文があり、相互に本文の異同があるばかりでなく、収録説話数、説話配列も大きく異なっています。ですから、長明の原『発心集』がどのようなかたちをしていたのか、そしてその後『発心集』はどのような過程を経て現在に至っているのか、ということが長年課題となっています。

山鹿文庫本は、山鹿素行を祖とする山鹿家の旧蔵で、一昨年国文学研究資料館に寄贈され、翻刻の公刊が可能になったものです。異本系統に属し、異本系統ではこれまで唯一読まれてきた神宮文庫本より優れた本文をもっています。今後、『発心集』の本文校訂に際して活用されることが期待されるだけでなく、とくに捨て仮名や振り仮名が多いこと、片仮名宣命書きの表記・文体を留める箇所が多いことが注目されます。『発心集』は発心、出家、遁世、往生等の話が多く、その内容から、僧侶が唱導の台本として利用していた可能性が指摘されていますが、上述のような体裁は、中世における唱導の台本（「説草」といいます）の表記・文体と同じで、『発心集』が唱導の台本として利用されていたことを窺わせるものとして、注目できると見ています。つまり、山鹿本は、『発心集』の本文批判の上においても、またその享受のあり方を考える上でも貴重な伝本だと考えており、こうして発表させていただいたというわけです。

仏教説話集というと、信仰の所産で、縁のないものという印象を持たれるかもしれませんが、これは長明が、「凡夫」であるという自分のために、発心のよりどころとなる説話を集めた説話集です。下鴨神社の禰宜になろうとして果たせず、失意の果てに出家、遁世した彼が、それでもなお発心できずにおり、ひたすら発心と往生を願う中で編んだものなのです。わたしはそこから、彼の切羽詰まった思いが感じ取れると思いますし、どう生き、どう終わりを迎えるかという点で、現代を生きるわたしたちにも訴えかけてくるものがあると思います。

(文学部非常勤講師 神田邦彦)

編集後記

「季報」97号をお届けします。

原稿を執筆いただいた白石先生、著書紹介をしてくださった神田先生に感謝申し上げます。

今号で取り上げた「ホームページ」・「TULC」・「プレゼンテーションルーム」などを活用し、実りのある学習の秋が過ごせることを願っております。 (S. A)

二松学舎大学附属図書館

季報

第97号

発行日 平成28(2016)年10月20日

発行 二松学舎大学附属図書館

九段図書館 〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16

電話：03-3263-6364

柏図書館 〒277-8585 千葉県柏市大井2590

電話：04-7191-8758

印刷所 株式会社 サンセイ

電話：03-5227-8333